

11月4日
交通死亡事故をなくしたい
町内教職員が交通事故死撲滅の署名



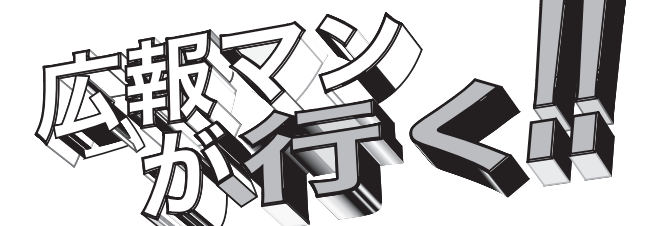
署名簿を手渡し小澤教育委員長(左)と
「ストップ・ザ・交通事故死！ 宣誓の輪運動」の署名簿交付式が11月4日、弟子屈警察署で行われました。教職員の交通違反や事故が少なくないことから、交通死亡事故防止の意識を新たにしようと、町内全小・中学校と弟子屈高校の教職員、町教育委員、町教育委員会職員が「ストップ・ザ・交通事故死」の署名を行ったものです。集められた160人分の署名簿は、小澤重弟子屈町教育委員長と弟子屈町校長会副会長の伊藤新一弟子屈小学校校長、弟子屈町教頭会事務局局長・富田和幸弟子屈中学校教頭、原田稔朗弟子屈高校教頭、小林教育長から望木勝雄弟子屈警察署長に手渡されました。

11月3日
この道一筋に精進
林隆雄さんに秋の叙勲



喜ぶの林さん
秋の叙勲が11月3日に発表され、林隆雄さん(74歳・中央2)が消防功勞により瑞宝双光章を受章しました。林さんは、1956(昭和31)年に弟子屈消防団に入り、地域防災の担い手として活躍しました。1995(平成7)年から退団する昨年までの14年間は団長を務め、消防力と防災力の強化・向上に努めました。林さんは「団員や家族の理解と協力があって務めることができた。幸せな団長だった。今後も、地域のために役に立つことがあれば協力していきたい」と話していました。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



企画財政課企画係 ☎482-2913(課直通)

10月15日
防火管理協議会と婦人防火クラブ
住宅用火災警報器の設置を呼び掛ける



農協前での街頭広報
弟子屈防火管理協議会(筒井庄一会長)と弟子屈婦人防火クラブ(柏倉征子会長)による防火街頭広報が、火災予防運動初日に当たる10月15日に摩周湖農協前とフクハラ前でなされました。訪れた買い物客などに防火チラシとともに風船や粗品を配布し、火災予防と住宅用火災警報器の設置促進を呼び掛けました。

10月24日
各防火団体約90人が参加
防火徒歩パレードで「火の用心」



火の用心を呼び掛ける幼年消防クラブ
弟子屈消防署・消防団と町内の各防火団体による防火徒歩パレードが10月24日、JR摩周駅前から役場までの区間で行われました。10月15日～31日の全道一斉秋の火災予防運動の一環として毎年行われているもので、約90人が参加。消防団ラッパ隊を先頭に各防火団体が法被を着て行進し、沿道で観覧している方へ防火チラシやポケットティッシュを配布して防火を呼び掛けたほか、摩周丘幼稚園の幼年消防クラブの子どもたちが、かわいい声で「火の用心」を呼び掛けました。

11月10日
地域災害の応急・復旧活動を支援
社北海道エルピーガス協会が町と協定を締結



協定書の交換に際する協
本部長(左)と徳永町長
社北海道エルピーガス協会と町による「災害等の発生時における弟子屈町と北海道エルピーガス災害対策協議会の応急・復旧活動の支援に関する協定書」調印式が11月10日、役場で行われました。同協会が1月8日付で災害対策基本法に基づく指定地方公共機関になったことを受けて、災害時の応急・復旧活動に貢献したいと協定を結んだものです。調印式には、北海道エルピーガス災害対策現地本部(釧路支部)の武田勝宏本部長、上村保範副本部長ほか4人が出席。武田本部長と徳永町長が協定書を交わしました。武田本部長は「釧路管内すべての市町村と協定を結ぶことができた。今後も町の安全と発展に協力したい」と、豊富を述べました。

11月7日
毎日の練習の成果を発表
摩周丘幼稚園のお遊戯会



楽器の演奏を披露する4歳児
摩周丘幼稚園(鈴木幸栄園長)のお遊戯会が11月7日、摩周観光文化センターで行われました。園児は、クラスごとに歌や楽器演奏、踊り、劇などを披露。この日のために一生懸命練習してきた成果を、元気いっぱいに舞台の上で発表していました。カメラやビデオなどを手にして集まった保護者などからは、たくさんの拍手が贈られていました。

10月25日
プロの歌声と演奏に魅せられる
弟小で声楽家とピアノのミニコンサート



美しい歌とピアノに聴き入る児童
弟子屈小学校(伊藤新一校長)で10月25日、歌とピアノのミニコンサートが開催されました。町内にお住まいの水岡祥二さんの協力のもと、児童に生の演奏に触れてほしいと開催されたものです。山田亜寿香さん(ソプラノ・芸大卒)と松井永太郎さん(バリトン・同)、高木美来さん(ピアノ・芸大大学院卒)が、日本人の作詞・作曲による曲を中心に歌とピアノを披露し、児童から大きな拍手が贈られました。また、同校の校歌を児童と一緒に歌ったほか、児童からの質問にも答え、楽しいひとときを過ごしました。

10月26日
かわいい躍りに大感激
おひさま保育園児が厚生病院を慰問



園児の弟子屈音頭を細める患者さん
おひさま保育園(清水節子園長)の年長・年中児が10月26日、摩周厚生病院を慰問しました。入院中のお年寄りなどを前に、お遊戯「天までとどけ わらしうた」と「弟子屈音頭」を元気いっぱいに披露した園児たちに、たくさんの拍手が贈られていました。患者さんは「とてもかわかった」とうれしそうに話していました。

11月16日
大切な魚資源を守りたい
屈斜路湖にニジマスの稚魚を放流



バケツでの放流の後、トラックからの放流を見学
町では11月16日、屈斜路湖にニジマスの稚魚を放流しました。遊魚振興の一環として、1968(昭和43)年から毎年行っているものです。この日は、和琴小学校(合田晃子校長)の児童など約30人が参加。和琴半島で、体長10センチ、重さ10グラムほどの稚魚約50,000匹を湖に放流しました。子どもたちは「ちゃんと大きくなってくれればいいな」と話していました。

11月11日
地場産の食材でおいしいおやつ
カンタンおやつ作り教室を開催



親子で力を合わせてピザ作り
11月11・17の両日「なるべく地場産の食材を使ったカンタンおやつ作り」が行われました。地産地消の推進を目的に、7月から毎月行われています。11日には弟子屈産の小麦粉を使ったピザ作りが行われ、参加した4組6人が調理と試食を楽しみました。今月は12月9日に行われますので、皆さんも参加していませんか。詳しくは27ページをご覧ください。

11月1日
陶芸って面白い
弟中と川中の3年生が摩周焼を体験



森さん中央の指導を受けながら陶芸に挑戦
弟子屈中学校(吉田亨校長)と川湯中学校(室山俊美校長)の3年生71人が11月1日、陶芸体験学習を行いました。総合的な学習の一環として行われたもので、郷土を代表する工芸の一つである摩周焼の制作を通して、思い出をつくり、郷土を愛する心を育てることが目的です。摩周焼窯元の森雅子さん(奥春別)を講師に招き、森さんとそのお弟子さんたちの協力の下、多目的カップ作りに挑戦しました。作品は、12月中旬から公民館で展示される予定です。